

WILL ちいき通信 Vol. 2

地域連携委員会 2016年3月発行

札幌保健医療大学から、地元の皆様に地域連携活動をお知らせする広報誌です。

■ 『WILL ちいき通信』 第2号 発行にあたって

地域連携委員長 伊藤 祐紀子

「WILL ちいき通信」は、地域の皆様に本学の志を伝え、本学の地域活動をご理解頂きたいとの思いから昨年3月に刊行されました。お読みいただけましたでしょうか。「地域に根ざした大学創り」を目指して、今年度も活動を進めてきましたので、第2号としてご報告いたします。

開学から3年が経過し、ようやく本学の地域貢献、地域連携活動の基盤ができつつあります。東区および近隣町内会との連携活動を継続しつつ、この地域に暮らす人々の声に耳を傾けながら生活や健康に寄り添える活動ができるよう努力したいと思っています。

平成27年度地域連携活動報告

■ 平成27年度 第1回公開講座を開催しました

平成27年5月30日（土）、本学主催による平成27年度第1回公開講座を札幌市東区民センターにて開催しました。開学して3年目を迎え、初となる今回の公開講座のメインテーマは「共に生きる」。講師は本学の稲葉佳江学長が、座長は小林清一学部長が務め、地域の方々や学生を含む約70名が参加しました。稲葉学長による「病者と共に生きる」というテーマで講演を行い、簡単な性格診断テストを体験していただきました。参加者の方からは、「介護や家族の関係性について理論を学習することができた」、「家族のケアをするのが患者さんのケアでもあることを強く感じた」といった感想が寄せられました。



■ モエレ町内会の夏祭りに学生・教員が参加しました

7月18日(土)、本学近隣のモエレ町内会主催による「中沼西夏まつり」に本学学生・教職員が参加し、地域の皆様と交流を深めることができました。

教員による「健康相談コーナー」では、血圧等の測定を行い、健康について疑問に感じていることを率直に伺うことができました。またステージ上では、有志学生による健康体操のデモンストレーションを行い、あいにくの雨にもかかわらず、温かい拍手を頂きました。日頃地域の皆様と接する機会が少ない学生も、地域の方たちが一緒に身体を動かして下さる様子を目にし、今後の学習の励みとなったようです。



■ 平成27年度 第2回公開講座を開催しました

10月17日(土)、今年度第2回目となる公開講座を実施し、本学地域看護学領域 近藤明代教授が講師を務めました。「データから見る～互いに息づかいを感じるまちでの暮らしと健康」をテーマとし、多くのデータを交えながら、地域の人間関係が暮らしやすさだけでなく、健康感にも大きな影響を与えるということを知りやすくご紹介いたしました。

講演後参加した方からは「地域との関わりをもっと強めたいと思った」、「SNSで育った自分達の世代が高齢になった時の変化を考えた」等の感想が聞かれ、地域を考えるきっかけにして頂けたようです。



■ ひがしく健康・スポーツまつり 2015 に参加しました

札幌市東区つどいむにおいて10月18日(日)、「ひがしく健康・スポーツまつり2015」が開催され、本学教員もボランティアとして色々な企画に参加させて頂きました。ウォーキングの中継地点では「札幌黄」の玉ねぎを配布し、豊生会介護相談コーナー、鍼灸マッサージ体験コーナーでは受付のお手伝いをさせて頂きました。本企画は5者連携事業の一環での協力でしたが、従来の企画をリニューアルしての試みで、予想以上の入場者を迎え大盛況の中、地域の方々の健康づくりに対する関心の高さを感じました。



■ 豊生会カフェボランティアに参加しました

東区内において「ふらっとステーション伏古(コミュニティサロン)」や「東雁来ニルスファーム(コミュニティファーム)」など、地域住民に対する包括的ケア活動を積極的に行っているNPO法人ニルスの会様からの協力要請を受け、昨年12月より、前述のサロンにおける「在宅医療・介護なんでも相談カフェ」イベントに講師派遣を行っています。



本学から2回目の講師派遣となった1月26日(火)の「在宅医療・介護なんでも相談カフェ」には、近隣にお住いの皆様や会場と併設するグループホームに入居される方々等、約30人が参加して、本学坂倉教授、中田助教によるミニ講座「テーマ：高齢者の生活支援としての回想法」が開催されました。

■ 札幌雪まつりボランティアに参加しました

さっぽろ雪まつりつどいむ会場にて企画された「わくわくタッピーランド」において、2月7日(日)ボランティアとして参加しました。小さなお子様も参加できるコーナーで、地域の方々、観光客の皆様の笑顔に癒された一日になりました。

■ 健康づくりフェスティバルに参加しました

2月24日(水) 東区民センターにて行われた、「第13回健康づくりフェスティバル」に、本学の学生有志が参加しました。このイベントは、平成15年度札幌市策定指針健康さっぽろ21実現のために、東区健康づくり連絡協議会、東区保健福祉部(東保健センター)、本学を含む東区4教育機関、札幌市医師会の共催事業で、健康づくりを実践している団体のネットワーク強化や地域の健康づくり活動の推進を図ることを目的に実施されているものです。共催の一翼を担う本学からも、昨年に引き続き学生が参加し、メイン講話におけるエクササイズでは、地域住民の方とのディスカッションやカウンセリング来談者役の代表モデルなど、積極的に参加協力してくれました。メインテーマ「心と健康」にあわせ、音楽療法、ストレッチ体操の実演や、コミュニケーション手法の研修など、たくさんのプログラムが用意され、多くの地域の方々が大変楽しそうに参加されていました。



平成28年度地域連携活動予定

- ◆5月14日(土) 平成28年度第1回公開講座「共にいきる～アレルギーと上手につき合うには」
講師 札幌保健医療大学学部長 小林清一教授 於：東区民センター視聴覚室
 - ◆7月 モエレ町内会 夏祭り健康相談 於：中沼西会館
 - ◆10月 札幌保健医療大学大学祭 於：札幌保健医療大学キャンパス
- *その他、東区との地域連携事業に参画していきますので、ぜひご参加ください。

編集後記

- ひがしく健康・スポーツまつりに参加し鍼灸マッサージ体験コーナーのお手伝いをさせていただきました。地域の皆様と交流することができ貴重な体験となりました。今後も地域活動に貢献できればと思っております。(教員：西村)
- 今年度は「ひがしく健康・スポーツまつり2015」にボランティア参加しました。地域のみなさんと一緒になって楽しみました!!次年度は、ぜひ学生と一緒に参加したいです。(教員：芹田)
- 「地域に根ざす大学」を目指して、地域のみなさまに本学を身近に感じていただけるよう企画・運営をしていきたいと思えます。(教員：相馬)
- イベント講師派遣に同行させていただき、地域に根を下ろす医療介護施設や関係機関との連携事業の必要性を強く感じました。本学による地域貢献の機会を増やす活動を継続していきます。(事務：阿部)
- 中沼西夏まつりでは雨の中、学生達を温かく見守って頂き、心から感謝です。(事務：伊藤)

発行所



札幌保健医療大学
Sapporo University of Health Sciences

〒007-0894 札幌市東区中沼西4条2丁目1番15号

Tel. (011) 792-3350 (代) Fax. (011) 792-3358